

I 2014（平成 26）年度「学生による授業評価アンケート」実施報告

1. 実施目的

「学生による授業評価アンケート」は、本学の教育内容や教育方法等の課題を明確にし、質的な向上を図ることを目的に全学的規模で 2008（平成 20）年度から継続的に実施している。

集計結果が出たのち、教員はそれを踏まえて自己評価をおこない、結果についての所見、改善に向けた今後の取り組みについて学生へフィードバックを行った。フィードバックの内容は、学内 Web にて公開している。

2. 実施方法

1) 実施期間

前期は、2014（平成 26）年 7 月 1 日(火)～7 月 29 日(火)、後期は、2014（平成 26）年 12 月 11 日(木)～2015（平成 27）年 1 月 19 日(月)に実施した。ただし一部の集中科目等については、実施期間外に実施した。

2) 調査対象科目・調査対象者

調査対象科目：2014（平成 26）年度に開講されている学部すべての授業科目を調査対象とした。

調査対象者：全学部の学生

3) 実施科目数・回収率

開講所属ごとの実施科目数、回収率は下のとおりである。

開講所属	開講科目数 (a)	授業評価アンケート実施数 (b)	実施率	授業評価アンケート実施科目回収状況		
				履修者数	回収数	回収率
共通教育科目	231	226	97.8 %	8,724	6,756	77.4 %
資格関係	47	45	95.7 %	871	711	81.6 %
英語英文学科専門教育科目	203	192	94.6 %	4,586	3,596	78.4 %
人間文化学科専門教育科目	116	114	98.3 %	1,909	1,485	77.8 %
人間文化学部共通科目	12	11	91.7 %	102	84	82.4 %
生活福祉文化学部専門教育科目	207	198	95.7 %	4,310	3,514	81.5 %
心理学部専門教育科目	154	135	87.7 %	6,440	5,030	78.1 %
計	970	921	94.9 %	26,942	21,176	78.6 %

4) 調査内容（学部）

最初に、回答者の属性（学年・所属学部（学科））を尋ね、次に当該科目に関して「授業の状況」「学習の状況」「学習成果（社会人基礎力）」「授業形態項目」「独自設定項目」について尋ねた。設問数は、選択式 19 問 自由記述 2 問である。

「授業形態項目」は、今年度新たに設けた調査項目であり、授業形態（講義、演習、実習、卒業研

究)によって異なる。

調査項目の一覧は以下のとおりである。

当該科目に関する調査項目と回答形式

(1) 調査項目

授業の状況

- (1) 授業はシラバス (目標・内容・方法など) に沿った内容であった
- (2) 授業中に使う教材 (テキスト・配付資料など) は適切であった
- (3) 成績評価の仕方が明確に示されていた
- (4) 教員の話し方は、わかりやすかった
- (5) 教員は学生の理解や反応に柔軟に応じて授業を進めた
- (6) 授業は興味関心の持てる内容であった
- (7) 授業の教室の広さや設備などは適切であった

学習の状況

- (8) 授業の内容は理解できた
- (9) やむを得ぬ理由以外では遅刻・欠席をしなかった
- (10) この科目について授業以外 1 週間あたり、どのくらい学習しましたか
[5(2 時間以上)、4(1~2 時間未満)、3(30 分~1 時間未満)、2(30 分未満)、1(0 時間)]

学習成果 (社会人基礎力)

- (11) この授業で、「自分を育てる力」が向上した
- (12) この授業で、「共生・協働する力」が向上した
- (13) この授業で、「コミュニケーションする力」が向上した
- (14) この授業で、「創造・発信する力」が向上した
- (15) この授業で、「思考・解決する力」が向上した
- (16) この授業で、「主体的に行動する力」が向上した

授業形態項目 (講義)

- (17) 教員は、私語の注意など受講マナーを守らせるよう配慮していた
- (18) 黒板の字や視聴覚教材 (パワーポイントなど) は見やすかった
- (19) 授業の進むペースは適切であった

授業形態項目 (演習)

- (17) 発表や課題提出に対して教員から適切なフィードバックがあった
- (18) 教員とコミュニケーションがとれた
- (19) 授業中に質問や発言を積極的にした

授業形態項目 (実習)

- (17) 実習はやりがいがあった
- (18) 授業中に質問や発言を積極的にした
- (19) TA などのサポートが役に立った

授業形態項目 (卒業研究)

- (17) 卒業研究の作成過程・出来栄に満足している
- (18) 指導教員から適切な指導を受けた
- (19) 卒業研究作成の過程で、多くの学びがあった

独自設定項目

(20) 担当教員が、独自に設定した項目

自由記述

- ・この科目（授業）について「よかった点」を記入してください。
- ・この科目（授業）について「改善すべき点」を記入してください。

(2) 回答形式

評価項目(1)～(20)については、以下の6件法で回答させた。

- 5：そう思う
- 4：どちらかと言えばそう思う
- 3：どちらとも言えない
- 2：どちらかと言えばそう思わない
- 1：そう思わない
- 0：該当しない

5) 実施手順（学部）

授業評価アンケートの調査票は、学事課より実施期間前に教員へ配付した。各科目の担当教員は、学生に対しアンケートの主旨等を説明した上で調査票を配付した。回答済みの調査票は、担当教員に指名された学生の代表が回収し、学事課へ提出した。

ただし、「ノートルダム学Ⅲ」と全学部の「卒業研究」は、「ノートルダム学Ⅲ」の授業中（2014（平成26）年12月8日（月））に、学事課および研究・情報推進課の職員が学生に配付し回収した。

6) 結果の集計

調査票の印刷・封入作業および集計処理は、株式会社教育ソフトウェアに依頼した。

7) 教員への結果通知と集計結果の配付

科目別集計結果については、前期実施分は2014（平成26）年9月中旬に返却し、後期実施分は、2015（平成27）年3月に返却した。